平成26年度

大牟田市議会 議会報告会

第1部

昨年度の議会報告会で出された意見 「市立小中学校普通教室への エアコン設置」に関する 議会としての取り組みについて

~ 快適な学校環境のために ~







「市立小中学校普通教室への エアコン設置に関する決議」 可決までの経緯について

昨年度の議会報告会で市立学校への 空調設備の設置を求める市民要望が 出される



その他にも



市小中学校PTA連合会など

市立小中学校への エアコン設置の要望 が出される





大牟田市 行政・教育委員会

議会では・・・ 昨年8月の市民からの意見・要望を受け、9月議会・決算特別委員会 においてエアコン設置についての意見や質問、要望を行った

平成25年11月	エアコン設置に対する市長の考え方を求める文書を提出
平成26年2月	市長から回答 「現在取り組んでいる総合計画に基づく計画とあわせて、 (仮称)第5次総合計画策定の中で財政計画との整合を図 り、計画的に設置できるよう検討する。」
3月	上の回答に加えて、本会議の質疑質問の中で市長より、 エアコンの設置は平成28年度からの3ヵ年程度で整備し たいとの年次目標が示された。 予算特別委員会では、多くの議員から更なる計画の前倒 しを要請。
3月25日	「市立小中学校普通教室へのエアコン設置に関する決 議」を上程、賛成多数により可決

市立小中学校普通教室への エアコン設置に関する決議(抜粋)

市立小中学校普通教室へのエアコン設置については、市・行政は平成28年度からの3力年程度での整備を表明されたところではあるが、今後、以下3つの事項を踏まえて取り組まれるよう強く要請する。

- 1. 平成26年度中にもエアコン整備計画を市民・議会に対し示すこと
- 2. 有利な財源等の確保ができれば、前倒しして整備すること
- 3. 緊急性のある普通教室には、有利な財源等の確保とは別に優先整備を検討すること

また、本市議会は、今後の市・行政の取り組みに対し、なお一層注視するとともに、適宜、提案・助言等をし、一日も早いエアコン設置に向けて 尽力することをここに誓う。

平成26年3月25日

議会決議後の経緯と今後の取り組み

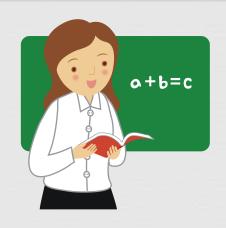
平成26年6月議会において、本年度中に特別支援学校の普通教室にエアコンを設置するとした補正予算の提案がなされ、全会一致で可決。

今後については・・・

- 平成27年3月までに特別支援学校の15教室にエアコンを設置。
 事業費3,500万円。国のがんばる地域臨時交付金を活用。
- □ 9月中旬までに全校で普通教室室温調査が行われ、その結果を参考に様々な観点から検討し、平成26年度中に設置計画をまとめる予定。

市議会としましては

決議に基づき今後の行政の動きを注視し、教育環境における室温やPM2.5などの対策として、小中学校普通教室へのエアコン設置の早期実現に向け、適宜、提案・助言等をしていきます。





第2部

議会活動の取り組みなどについて

- 1. 三川坑跡の保存・活用に関する基本計画
- 2. (仮称) 第5次総合計画に関する市民意見



本市の近代化産業遺産

本市の近代化産業遺産

- 三川坑跡
- 旧三井港倶楽部
- 旧長崎税関三池税関支署
- 旧三川電鉄変電所
- 電気機関車(旧三池炭鉱専用鉄道)
- 三池炭鉱宮原坑
- 三池炭鉱専用鉄道敷跡
- 三池港

- 旧三池集治監外塀
- 宮浦坑跡
- 大牟田市役所本庁舎旧館

など

世界遺産候補の構成資産

「明治日本の産業革命遺産」として世界遺産登録を目指しているのは、8県11市23の構成資産群をまとめた登録であり、本市の構成資産は3つです。

三川坑跡の保存・活用に関する平成25年以降の動き

平成25年1~2月	•	三川坑保存に関する署名活動(大公連、経済界) 「三池港、三川坑跡及び旧三井港倶楽部の一体的保 存・活用に関する意見書」を市に提出 (大牟田商工会議所)
3月26日	•	「三川坑跡の保存・活用に関する決議」を議会で可決
7月	•	大牟田市近代化産業遺産を活用したまちづくり協議会 設立
8月	•	「三川坑跡活用検討審議会」第1回会議(全5回)
9月	•	「三川坑跡及び周辺施設を考えるみんなの会議」 第1回会議(全3回)
平成26年2月	•	三川坑跡活用検討審議会からの基本構想案答申
3月	•	三川坑跡の保存・活用に関する基本構想策定
12月	•	三川坑跡の保存・活用に関する基本計画策定(予定)

三川坑跡の保存・活用に関する決議

本市が三川坑跡の保存・活用を検討するに当たっては、以下の 事項を踏まえて取り組まれたい。

- 1. 三川坑跡の保存・活用を検討するに当たっては、市民・議会への丁寧な説明と意見聴取、情報の公開に努めるなどして、市民・議会の理解と合意を得ながらすすめること。その前提として、市民や団体・専門家などからなる組織を立ち上げて、十分に議論すること。
- 2. 三川坑跡の保存・活用に関する費用については、国・県や関係機関などの支援を最大限求めながら、本市の負担を極力少なくすること。

平成25年3月26日

三川坑跡保存・活用の検討に係る関係図

三川坑跡活用検討審議会

意見提案



答申

諮問

三川坑跡及び周辺施設を考えるみんなの会議

設置

大牟田市

三川坑跡保存方針の基本的考え方(三川坑跡活用検討審議会答申)

三川坑跡は、大牟田市の発展の基礎の一つであった三池 炭鉱の鉱業所の一つであり、適切に保存していくことが必 要である。

現状の保存を基本とするが、施設の中には、老朽化が著しく、安全確保が困難な施設もあることから、一部修繕又は再建等を行い、三川坑の歴史及び重要な役割であった炭鉱の運搬システム、さらに他所に保管されている諸機械を集めて、地下での採炭システム等が理解できる形での活用を図る。

すなわち、三川坑を通じて炭鉱の仕組み全般を示すこと を基本とする。

基本構想で謳われている 保存整備費用の考え方

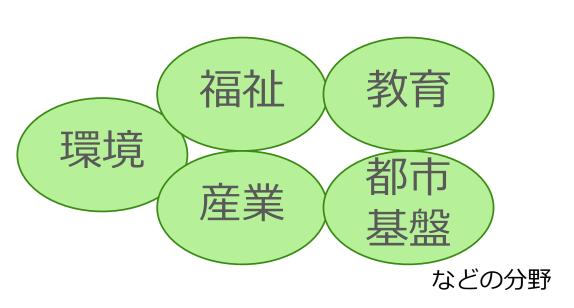
保存整備の費用等ついては

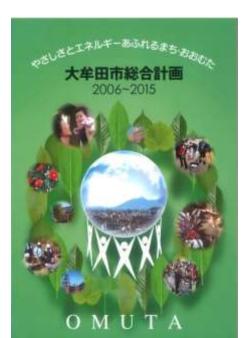
- ■『三川坑跡の保存整備に当たっては、基本計画策定の際、工法等を検討し、最小の費用で最大の効果をあげることができるようにする。』
- ■『財源については、国・県や関係機関などの支援を最大限求め ながら本市の負担を極力少なくなるよう、取り組みを進め る。』

(仮称)第5次総合計画 に関する市民意見について

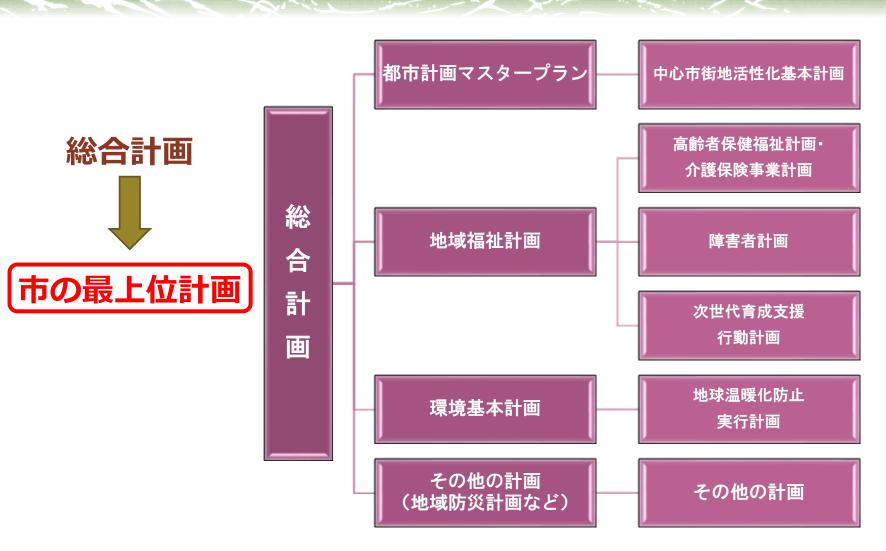
総合計画とは?

□長期的な展望に基づく総合的・計画的な 大牟田市のまちづくりの指針

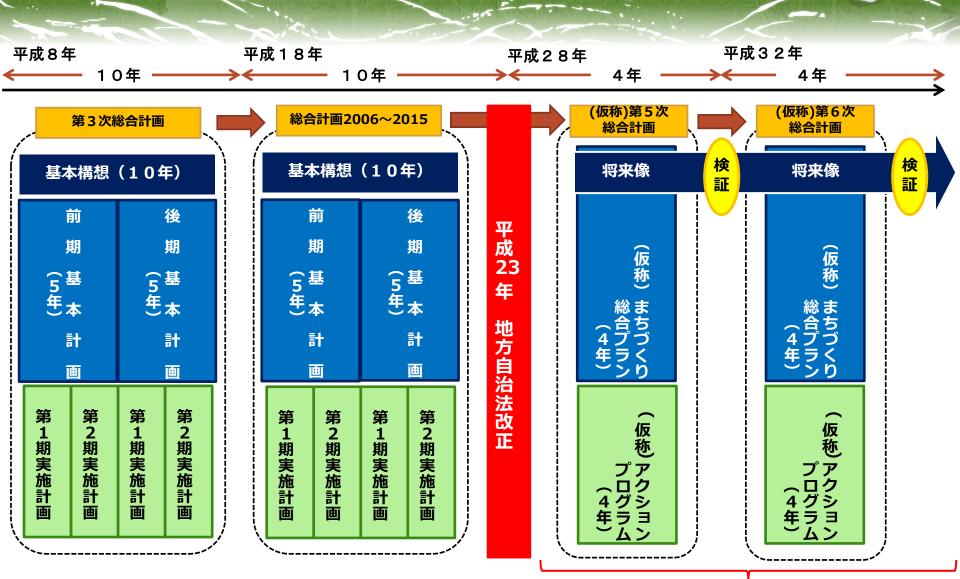




総合計画の位置づけ



総合計画の構成



総合計画2006~2015 後期基本計画第2期実施計画

平成25年度から27年度の間に、具体的に進める事業や施策を示したもの。

- ◆ 市民活動等多目的施設「えるる」の整備
- ◆ 新消防庁舎の建設事業
- ◆ 準用河川手鎌野間川河川改修事業
- ◆ 地域認知症ケアコミュニティ推進事業
- ◆ 学校再編整備推進事業
- ◆ 中学校給食推進事業

など

(仮称) 第5次総合計画策定

□ (仮称) 第5次総合計画策定方針(抜粋) 市民との協働による計画づくりといった基本的な姿勢を踏まえ、策定の各段階での作業や内容を積極的 に情報提供し、広く市民の意見を聴くとともに、多様な意見反映の確保に努める



総合計画の策定を進めていることを市民に知ってもらい、関心を寄せてもらうために…

フェイスブック、ポスター、ニュースレターの活用

市民意見の反映

26年8月~27年1月	市民ワークショップ(計7回開催予定)
26年9月~10月	各種団体や企業からの聞き取り調査
26年度後半~ 27年度中頃	総合計画審議会への諮問
27年7月頃	パブリックコメント(市民意見募集)



28年3月

(仮称) 第5次総合計画決定

市議会の関与

- □市議会全員協議会
 - ⇒行政当局から計画案についての説明を受け、 市議会からの意見を述べる。

- □市議会定例会での議案議決
 - ⇒総合計画案は、議決という議会でのチェック をした上で決定される。

議会報告会で出された市民意見は次のようにして反映に努めます

市民意見の集約・分類と公表

- (1) 市行政に対する発言で、関係委員会で継続的に検討を行うもの
- (2) 市行政に対する発言で、市当局につなぐ方がよいもの
- (3) 議会に対する発言で、関係委員会で継続的に検討を行うもの
- (4) 議会に対する発言で、摘録にして議員で供覧を行うもの

集約・分類、公表後には・・・

- ⇒ 常任委員会で検討を行い、市長等へ要望及び提案を行い回答を求める
- ⇒ 議員がさまざまな議会活動を通じて市民意見の反映に努める

ご清聴ありがとう ございました。 皆さんのご意見を お聞かせ下さい。

